



高松市病院事業経営健全化計画の改定について (概要)



病院局

I 計画の基本的な考え方



1 策定趣旨

本計画の位置付け

本計画は、将来にわたる持続可能な病院経営を行うため、以下を目的としている。

- 具体的な目標を設定する
- 目標達成に向けた工程表と具体的な方策を明らかにする
- 経営状況を把握するための経営管理の指標と基準を示す

2 計画期間

平成27年度から平成29年度までの3年間

Ⅱ 市立病院の現状



1 市立病院を取り巻く環境の変化

○ 周辺の医療機関の開院・改築

香川県中央病院（移転新築）、高松赤十字病院（改築）、屋島総合病院（移転新築）

○ 平成28年度診療報酬の改定

診療報酬（本体） +0.49%、薬価改定 Δ 1.22%、材料価格改定 Δ 0.11%

○ 地域医療構想の策定

香川県において、第六次香川県保健医療計画の一部として、将来の医療提供体制に関する構想及びその達成に向けた病床の機能の分化及び連携の推進に関する事項を定める地域医療構想を策定（H28.10）

○ 新病院施設整備

新病院起工式（H28.2）

○ 消費税率引き上げ（8%→10%）の延期

引上げ時期を、平成29年4月1日から平成31年10月1日に変更（H28.11）

2 市立病院の経営状況



(1) 収益的収支等の推移

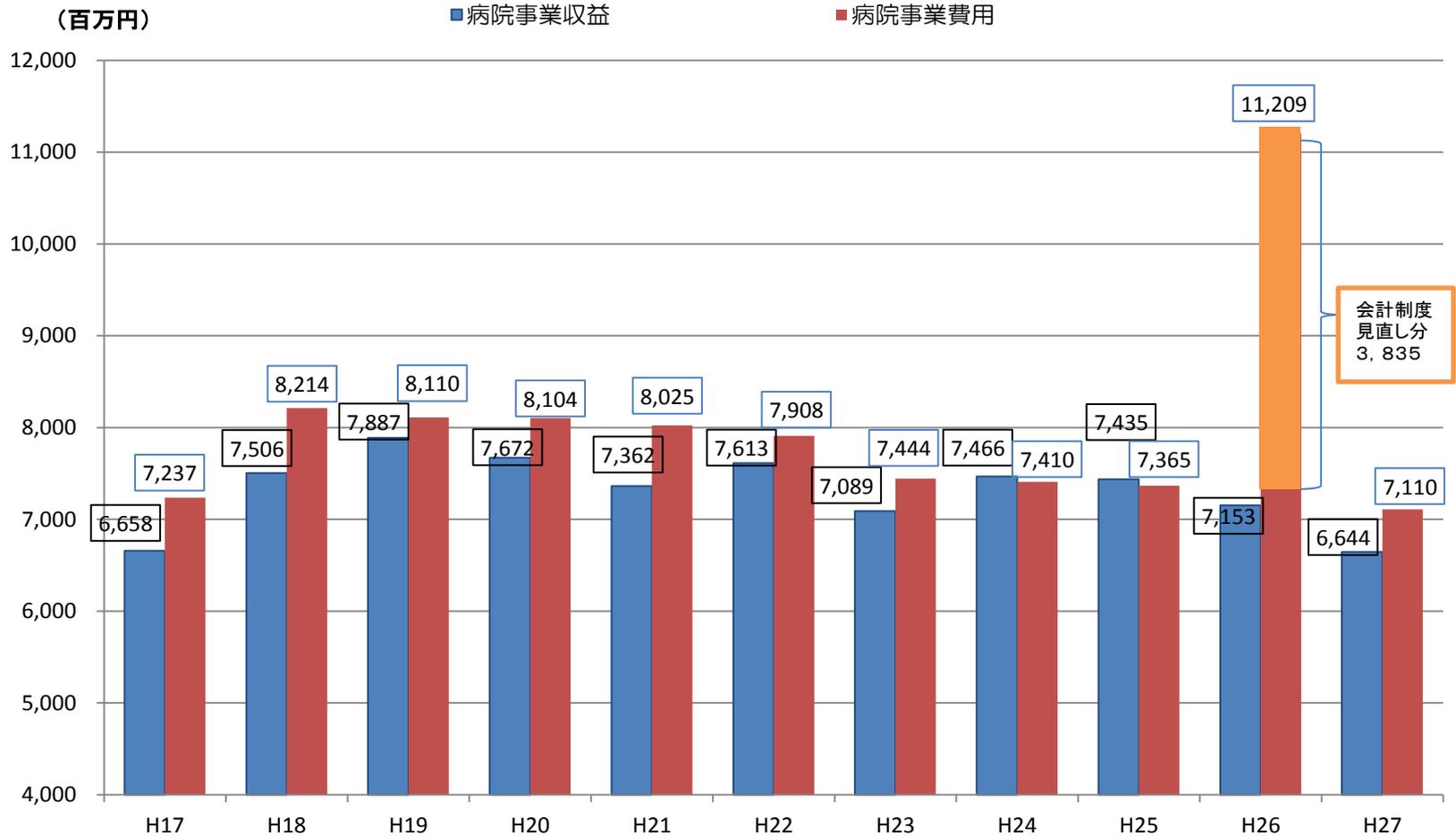
(単位:百万円)

年度	24年度	25年度	26年度	27年度
病院事業収益 A	7,466	7,435	7,153	6,644
医業収益	6,287	6,230	5,830	5,251
医業外収益	1,152	1,182	1,299	1,254
附帯事業収益	23	22	21	20
特別利益	4	1	3	119
病院事業費用 B	7,410	7,365	11,209	7,110
医業費用	7,176	7,128	7,142	6,870
医業外費用	192	191	199	184
附帯事業収益	24	26	26	29
特別損失	18	20	3,842	27
純損益 A-B	56	70	▲4,056	▲466
経常収支	70	89	▲217	▲558

※端数処理の関係上、合計と一致しないものがある。



(2) 病院事業収益・総費用の推移



※H26の費用は、地方公営企業会計制度の見直しに伴い、特別損失として計上した退職給付引当金等 3, 835 百万円を含んでいる。

Ⅲ 計画の改定



1 改定の趣旨

- 総務省から「新公立病院改革ガイドライン」が示され、香川県において、「地域医療構想」が策定される。
- また、平成27年度決算で患者数、収支ともに大幅に計画を下回り、計画と実績に乖離が生じている。
- そこで、平成28年度上半期までの取組実績を踏まえ、新たな課題に取り組むための見直しを行い、中間期となる平成28年度に本計画の一部を改定するもの。

2 改定の視点

以下の視点に基づき改定を行います。

- ① 地域医療構想の反映
 - ・地域医療構想を踏まえた市立病院の果たすべき役割を明確にする。
- ② 本計画の中間振り返り
 - ・これまでの病院運営実績を踏まえた各種取組項目、数値目標及び収支計画の見直しを行う。

IV 地域医療構想の反映



1 地域医療構想

団塊の世代が75歳以上となる平成37年に向け、病床の機能分化・連携を図るため、4つの医療機能（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）ごとに37年の医療需要と病床の必要量、及び、その実現のための施策を都道府県が定めるものであり、香川県においては平成28年10月17日に公示された。

2 構想区域

構想区域	二次保健医療圏	市 町
東部構想区域	大川保健医療圏	さぬき市 東かがわ市
	高松保健医療圏	高松市 三木町 直島町

3 必要病床数等の推計（平成37年）

構想区域	医療機能	H26現状 病床機能報告	H37必要数 地域医療構想	増減率
東部構想区域	高度急性期	1,084	607	56.0%
	急性期	3,239	1,853	57.2%
	回復期	560	1,698	303.2%
	慢性期	1,485	1,093	73.6%



4 地域医療構想を踏まえた本市病院事業の役割（実現するための施策）

	医療機関の自主的な取組と相互協議の推進
(1)	地域医療構想調整会議への参画 他の医療機関・介護施設等との更なる連携体制の構築
	病床機能の分化及び連携の推進
(2)	市民病院（新病院開院後）：112床の削減（増減率73.1%） 地域包括ケア病床44床を含めると（増減率62.6%） 塩江分院（附属医療施設開院後）：27床の削減（増減率69%）
	在宅医療等の充実
(3)	市民病院：地域包括ケア病棟の開設による在宅復帰支援 塩江分院：訪問事業の推進
(4)	医療従事者の確保・養成
ア	若手医師の定着促進 市民病院：医学科学生の実習・見学について、受入体制の充実、関連大学への寄附講座の設置 塩江分院：臨床研修医の研修プログラム充実、地域密着型臨床実習の場の提供
イ	看護職員の養成、離職防止、再就業支援 実習生等の積極的な受入れ
ウ	医療従事者の働きやすい環境整備 時間外勤務の縮減による過重労働の防止



V 各種取組項目、数値目標の見直し

1 実施施策のうち指標等の状況

改定前

改定後

【高松市民病院】

(項目数)

実施項目	新規	36
	計画に新たに掲載	47
	前計画で未達成	16
	前計画で達成したが 必要性から継続	46
	合計	145

廃止項目	前計画で達成	45
	継続の必要性なし	13
	合計	58

(項目数)

実施項目	新規	34
	計画に新たに掲載	47
	前計画で未達成	17
	前計画で達成したが 必要性から継続	47
	合計	145

廃止項目	前計画で達成	45
	継続の必要性なし	18
	合計	63

【塩江分院】

(項目数)

実施項目	新規	7
	計画に新たに掲載	23
	前計画で未達成	0
	前計画で達成したが 必要性から継続	34
	合計	64

廃止項目	前計画で達成	26
	継続の必要性なし	3
	合計	29

(項目数)

実施項目	新規	10
	計画に新たに掲載	23
	前計画で未達成	0
	前計画で達成したが 必要性から継続	34
	合計	67

廃止項目	前計画で達成	26
	継続の必要性なし	3
	合計	29

※香川診療所は、修正なし。



2 追加する主な指標

【高松市民病院】

		H27年度(実績)	H28年度	H29年度
医師確保	関連大学への派遣要請による 医師増加数	—	—	5人
	寄附講座の開設による派遣医師数 (正規職員換算数)	—	1人	1人
	医師斡旋業者の紹介により採用した 医師数	—	1人	1人
	任期付短時間勤務職員制度による 採用医師数	1人	1人	1人
災害医療		H27年度(実績)	H28年度	H29年度
	DMAT編成の資格取得	—	—	取得

【塩江分院】

		H27年度(実績)	H28年度	H29年度
地域医療	療養病棟入院基本料1の取得 (医療区分2、3の割合80%以上が必要)	72.5%(準備)	80%(取得)	80%(継続)
	在宅復帰機能強化加算の取得 (退院患者の在宅1月以上の割合50% 以上が必要)	—	50%(取得)	50%(継続)
医師確保		H27年度(実績)	H28年度	H29年度
	関連大学への派遣要請、医師斡旋業者 の紹介、ホームページを活用した公募 により採用した医師数	—	1人	1人



3 見直す主な指標

【高松市民病院】

高松市医療全体の最適化		H27年度(実績)	H28年度	H29年度
	地域包括ケア病棟の開設	検討	運用改善 ⇒ 検討	— ⇒ 開設
	在宅復帰率の向上 (在宅復帰率)	準備中	70% ⇒ —	70%

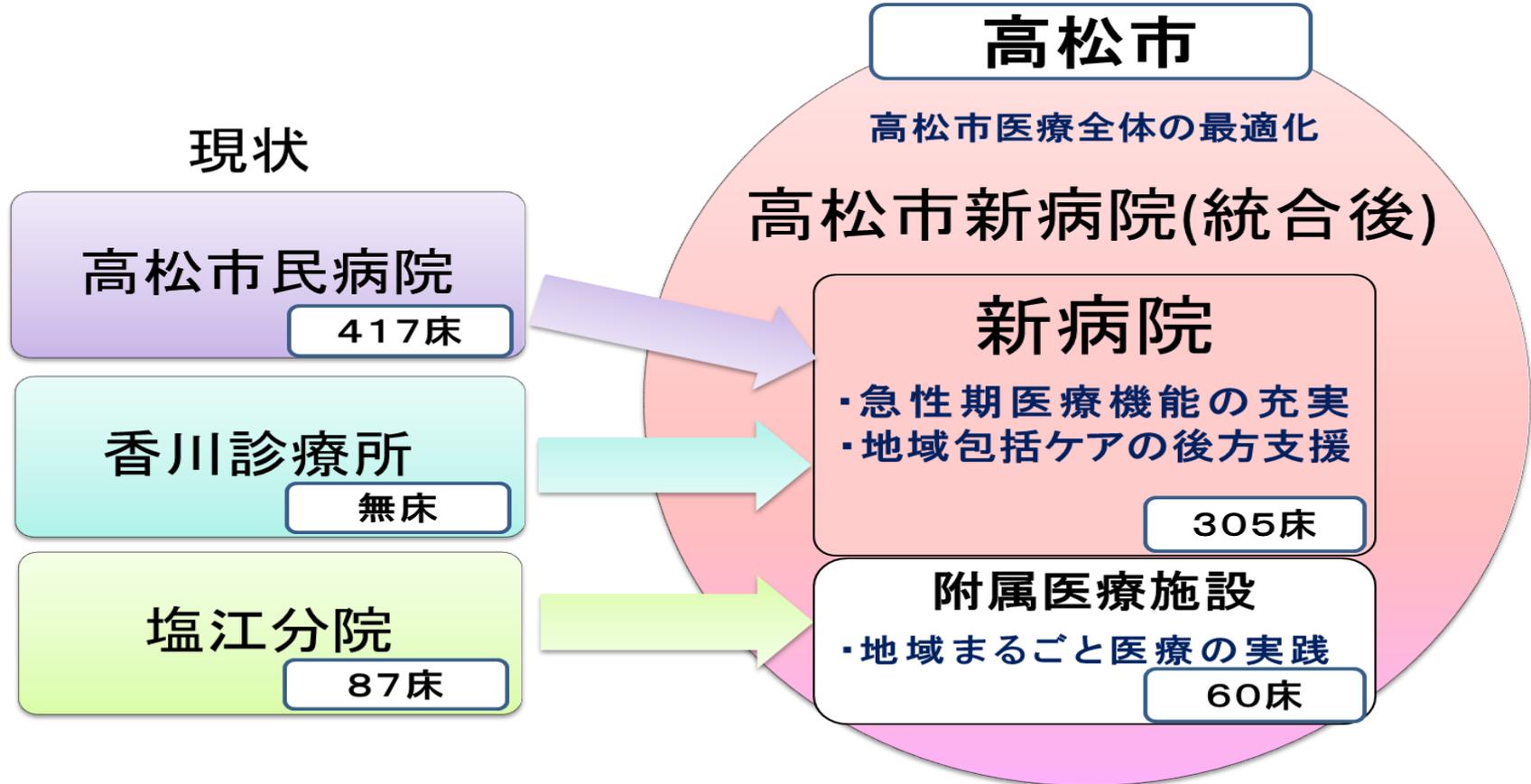
【香川診療所】

住民参加		H27年度(実績)	H28年度	H29年度
	出張講座の開催数	33回	24回 ⇒ 36回	24回 ⇒ 40回



4 新病院建設と医療機能の充実強化等の反映

VI 再編・ネットワーク化



Ⅵ 経営の効率化



目標指標の改定

【高松市民病院】

ア 医療機能に関する指標

区分	現行		改定後	
	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度
入院患者数(人)	89,060	89,790	53,603	69,715
外来患者数(人)	91,854	91,256	69,124	81,496
全病床利用率(%)	63.0	63.6	37.9	49.4
一般病床利用率(%)	75.9	76.5	44.6	58.2
平均在院日数(日)	13.2以下	13.0以下	13.2以下	13.0以下
紹介率(%)	50.0以上	50.0以上	50.0以上	50.0以上
逆紹介率(%)	70.0以上	70.0以上	70.0以上	70.0以上
手術件数(件)	2,345	2,540	2,345	2,540
患者満足度・入院(点)※	4.0以上	4.0以上	4.0以上	4.0以上
患者満足度・外来(点)※	4.0以上	4.0以上	4.0以上	4.0以上

※ 5点満点の平均点



【高松市民病院】

イ 経営に関する指標

区分	現行		改定後	
	平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度
経常損益(百万円)	△48	30	△804	39
経常収支比率(%)	99.3	100.4	86.6	100.6
医業収支比率(%)	88.6	90.0	73.6	88.1
資金不足比率(%)	—	—	—	—
職員給与費対医業収益比率(%)※1	66.5(62.8)	66.5(62.4)	89.7(86.2)	74.1(70.6)
材料費対医業収益比率(%)	18.1	17.7	18.4	17.4
経費対医業収益比率(%)	20.8	20.3	18.1	14.3
減価償却費対医業収益比率(%)	6.7	6.0	8.8	6.3
年度末実質現金残高(百万円)※2	610(2,724)	545(3,694)	△62(△275)	△494(1,172)

※ 各比率の算出方法は、地方公営企業決算状況調査における算出方法に準ずる

※1 職員給与費対医業収益比率の()は、退職給付費を除いた比率

※2 年度末実質現金残高：各年度末における未払金・未収金を当該年度内に処理すると想定した場合の実質的現金残高
()は、貸借対照表の各年度末における現金・預金残高

Ⅶ 収支計画



収支計画の改定 【高松市民病院】

（単位：百万円）

区 分		現行		改定後	
		平成28年度	平成29年度	平成28年度	平成29年度
収 益	医業収益	5,963	6,123	4,290	5,574
	うち一般会計負担金	229	229	211	233
	医業外収益	968	1,111	926	1,014
	うち一般会計負担金	799	913	759	809
	特別利益	1	1	12	1
収益合計		6,931	7,235	5,227	6,589
費 用	医業費用	6,730	6,806	5,826	6,325
	医業外費用	249	398	194	225
	特別損失	11	11	32	99
費用合計		6,990	7,215	6,052	6,649
純損益		△58	20	△825	△59
経常損益		△48	30	△804	39
※税抜					
現金・預金(年度末)		2,725	3,695	△275	1,172

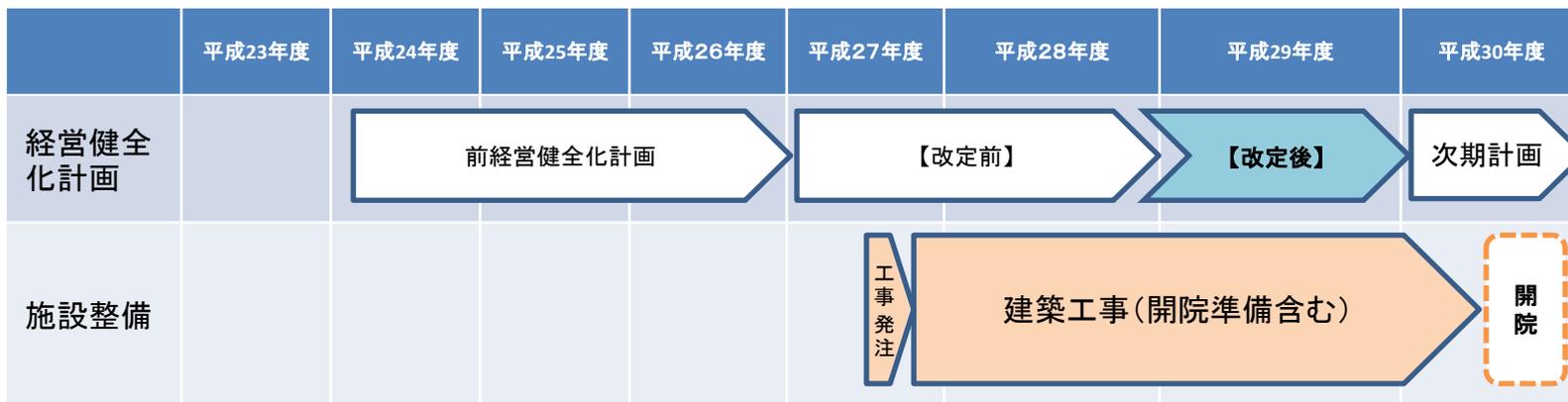
※病院間資金融通解消後の金額

※端数処理の関係上、合計と一致しないものがある。

VIII 改定スケジュール



1 改定後の位置付け



2 スケジュール

- 平成29年2月下旬 パブリックコメント
- 平成29年3月下旬 公表（ホームページほか）

